

Fiva206 を分解してみたり。

いろいろとチャチな作りがめだつ Fiva206 ですが、

全部バラしてみると、意外に、よく組み立てられていて、バラしやすい。

BIOS が起動しなくなったのは内蔵の電池がなくなったからかなと

確かめてみると、取りはずして電圧はかると 3.3V、でも装着時には 0.2V...

リチウム電池って、こんなに内部抵抗が低い電池でしたっけ？

とりあえず、新しい電池に交換。

これで動くぞ〜と期待して電源をいれてみると

... 果たして起動しませんでした。

なんだかデスクトップ PC も ATA コントローラまわりの調子が悪いのか

よく落ちるので使いものにならないし、なんだかついてないな〜。

研究室に行って、ちゃんと研究しろってことか？